

本市を流れる元荒川は県内有数の桜の名所として知られ、毎年4月のさくらまつりでは多くの客で賑わいをみせています。また吹上地域の17の橋梁群は「日本の近代土木遺産」に選定されるなど、市街地の中であって情緒溢れる美しい景観を形成しています。

「鴻巣市都市計画マスタープラン」では、元荒川の良好な水と緑の空間を活かし、水と緑に触れ合うことができる親水空間の整備を促進することとしています。

本提案では、観光資源としての魅力を一層高める取組とともに、うるおいと安らぎが実感できるフットパスや親水空間を整備するなど、本市の総合振興計画で定める将来都市像である『花かおり 緑あふれ 人輝くまち こうのす』を元荒川に実現させます。

取組のイメージ図

【現状】



元荒川沿いをウォーキングコース、イベント会場として活用するべく、フットパスの整備・水質浄化を行います。

【整備・活用イメージ】



計画等の位置付け

■鴻巣市都市計画マスタープラン

元荒川の良好な水と緑の空間を活かし、地域住民が水と緑に触れ合うことができるような親水空間の整備を促進します。

■鴻巣市緑の基本計画

元荒川は、市街地における貴重な水辺景観要素として、良好な景観の保全に努めるとともに、市民の憩いの場となる河川沿い空間の修景・整備を進めます。

■鴻巣市観光戦略計画

基本戦略「観光拠点施設の整備・活用と観光コースの充実」として、元荒川を含む公園緑地や公共施設、歴史文化施設、代表的な郷土景観地区などをネットワークで結ぶ「ふるさと総合緑道」の整備を進めています。

目標・成果指標

■元荒川を軸とした賑わいづくりと地域振興

本市の伝統産業である「ひな人形」や全国有数の出荷量を誇る花、川幅日本一にちなんだ「こうのす川幅グルメ」など豊富な観光資源と元荒川とを結びつけることで、まちなかと水辺の賑わいを創出し、地域の振興に繋がります。

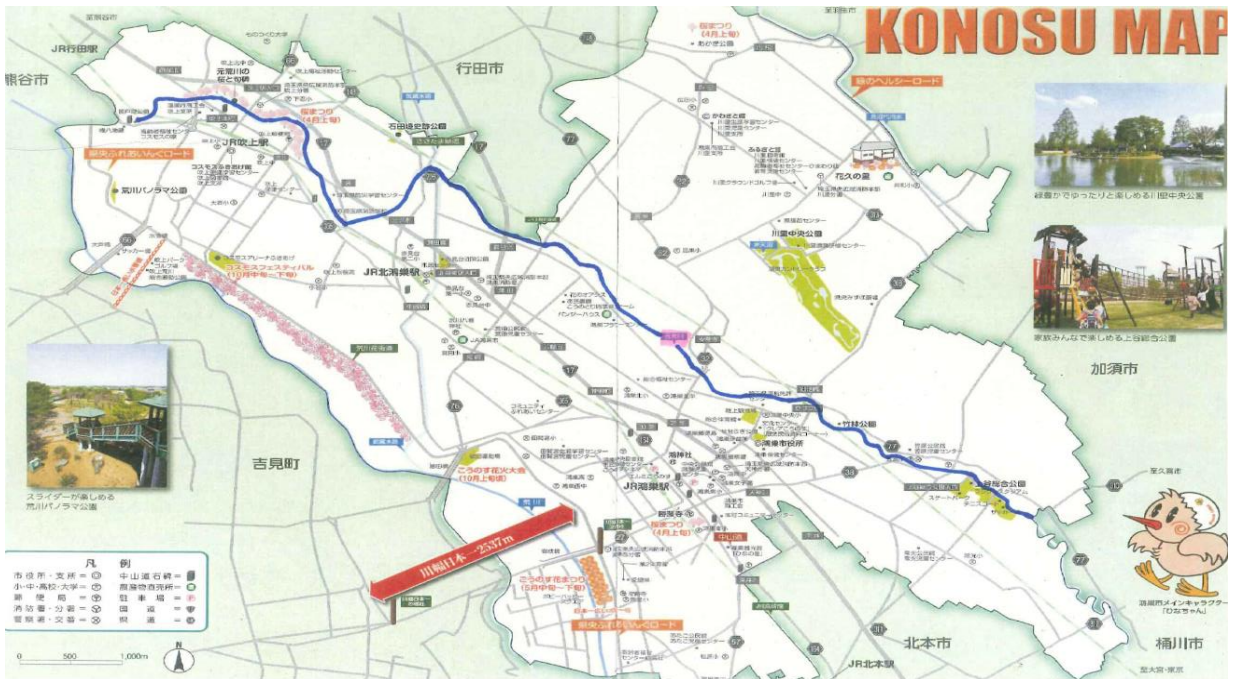
■市内をウォーキングする人の増加

市民、観光客が歩いて本市の有する緑あふれる自然を感じることができる整備を行い、ウォーキングコースの充実によって、「健康づくり都市 鴻巣」を内外にPRします。

(平成27年10月1日 健康づくり都市宣言)

成果指標	現在	整備後
観光入込客数	155万人/年	189万人/年
ウォーキングイベント参加者数	—	500人/回・日

位置図



本市の中央を流れる元荒川を対象とします。

川の状況

■市内の元荒川は延長約14km
(うち改修済み延長1.2km)

■活動団体 12団体
(うち川の国広援団の登録12団体)

■川の特徴

- ・吹上駅付近のさくらまつり会場は観光スポットとなっています。
- ・遠所橋・筑波橋間では河川内のフットパスが整備されています。
- ・本市域内を流れる元荒川に23の橋が架けられており、また、緑道に16の句碑が設置されています。

■過去の事業

- ・水辺再生100プラン
遊歩道の整備:延長1,200m

まちの状況

■地域資源

- ・本市は、江戸時代に中山道の宿場町として栄え、380年余の伝統を誇る「ひな人形」のまちとして、また近年では「花のまち」としても全国にその名が知られています。
- ・本市と吉見町の境を流れる荒川は、川幅日本一に認定されています。
- ・毎年10月に開催される鴻巣市商工会青年部主催の「このす花火大会」では、川幅日本一の荒川の河川敷と糠田運動場にて、正四尺玉の打ち上げを行っており、平成25年に「最大の打ち上げ花火」としてギネス世界記録に認定されました。

■課題

- ・花火大会やさくらまつり等、イベント開催時には賑わいを見せるが、通年での賑わいを創出したい。
- ・鴻神社や榎戸堰、石田堤、元荒川橋梁群などの歴史資産を活用したまちづくりを行い、観光交流人口を増加させ、地域経済の活性化に繋げたい。

位置図



【散策マップの
リニューアル】



【橋梁の補修】



地図の印をつけた箇所の魅力向上のためのハード事業と散策マップのリニューアル等のソフト事業を実施します。

【句碑の増設】



事業等の概要

ハード

- 元荒川の魅力向上
 - ・桜の植栽
 - ・樹木医による桜の診断
 - ・照明設置
 - ・橋梁補修
 - ・句碑増設
 - ・花壇設置
 - ・擬木柵設置
- 元荒川沿いのふるさと総合緑道の充実
 - ・ベンチ等休憩施設設置
 - ・駐輪場設置
- 案内板や道標の整備
 - ・観光案内板や各橋梁案内板設置
 - ・路面表示設置
- 北新宿区画整備事業、下水道整備の推進

ソフト

- 観光プログラムの充実
 - ・さくらまつりの規模拡大
 - ・日本ウォーキング協会のイヤールウンドへの登録
 - ・歴史的橋梁群をめぐる元荒川ウォーキングツアーの開催
 - ・カヌー教室の充実
 - ・地元小学生を対象とした自然観察会の開催
 - ・元荒川沿いのオープンカフェの設置検討
- 情報発信
 - ・散策マップのリニューアル
 - ・ツイッター等の活用
- 協議・検討
 - ・地元商工会と新たに協議会を設置し、連携した取り組みを行います

工程表・想定事業費

	H28	H29	H30	H31	H32	想定事業費
魅力向上		●	●	●	●	20百万円
緑道の充実			●	●	●	13百万円
案内板等の整備				●	●	5百万円
散策マップ作成				●	●	2百万円

県に実施してほしい整備の概要

この資料は市の提案書の抜粋であり、この内容の全てが実施されるものではありません。

位置図

【元荒川 吹上地域】



地図の橋番号1～12の区間と橋番号13～17の区間が整備対象箇所になります。橋番号12～13の区間については、整備イメージの写真のように整備済みです。

<整備イメージ>



<活用イメージ>



実施してほしい整備概要

- 河川内フットパスの整備（延長 約1,300m）
 - ・低水敷の舗装
 - ・河川沿い市道からの階段やスロープの設置
 - ・河川敷の雑木の伐採及び整地、防草処理
 - ・橋を下から見上げる空間の整備
- 親水護岸・階段の整備（延長 約300m）
 - ・スロープ及び階段の整備
 - ・低水護岸の修繕
 - ・カヌー発着所の整備
- 水質浄化
 - ・ヘドロの浚渫
 - ・水質浄化施設の設置

工程表・想定事業費

	H28	H29	H30	H31	H32	想定事業費
フットパスの整備		●	●	●	●	60百万円
親水護岸の整備			●	●	●	30百万円
水質浄化		●	●		●	10百万円